

六郷特別出張所管内	
人口	男32,720名
	女31,113名
	計63,833名
世帯数	29,765世帯
平成18年1月1日現在	

六郷わがまち

発行 わがまち大田
 六郷地区推進委員会
 編集 「六郷わがまち」編集委員会
 事務局 大田区六郷特別出張所
 〒144-0055
 大田区仲六郷2-42-2
 電話 03(3732)4885(代)

住み良いまちづくりをめざして(下)

先号に引き続き、本号では南六郷、東六郷の町会長・自治会長8人に抱負を語っていただきました。

明るい町づくりをめざして



南六郷一丁目町会
 会長 田村 等

昨年四月に連合会としては一番新しい町会長として就任いたしました。町会役員としては三十二年間勤めております。

町会の地域環境として、工場の跡地は公園、マンション、戸建住宅になり会員は毎年増加して、現在一七―八世帯です。会館は昭和五十四年に東京都から無償貸与された三階建都営住宅の一階部分を運営委員会方式で利用しております。(現在は大田区に移管されております。)リサイクル活動は長年続けており、その収益は敬老会や子供の花火大会等の費用に当てられております。町会の強みはあらゆる行事に

全役員が一つになつて取り組む団結力です。この力で地域の活性化、子供の防犯運動、防犯活動等広場つきの町会会館を大いに活用し、色々の行事が出来る様にしてまいりたいと考えております。

代々の会長は明るい町づくりを目指してまいりました。私も更に若い人材をどんどん役員に登用し、新しい力、新しい考え方を取り入れて明るい町づくりに貢献してまいりたいと思っております。

みんなが参加してみんながつくる町会



南六郷二丁目町会
 会長 柳原 恒雄

当町会は目標である「明るく住み良い町会」「防災に強い町会」「みんなが参加する町会」を目指しているいろいろな活動をしています。その中で最も大切な

活動は防災です。防災訓練には六百名以上の参加があり、町会の防災委員百十名が、制服・ヘルメットを着用して指導にあたります。また、学校避難所協議会、春・秋三日間の応急救護訓練、市民消防隊の訓練、災害弱者支援、そしてご縁ネット(高齢者見守り活動)等、大勢の皆さんに参加して頂いています。また、行事や会合を通して横の繋がりを広げ、みんなが参加する町会を目指したいと考えています。町会の活動を会員の皆様に理

解して頂くため、南二町会「ふれあい通信」を発行し、積極的に参画して欲しいと願っております。

ふれあい、ふるさとまつりは昨年五回目を迎え、餅つき大会、十一店舗の模擬店、そしてカラオケ大会、抽選会とようやく定着し参加者も年々増えています。今後の課題のひとつに班組織の変更があります。工場の跡地や空き地に住宅が建ち、班員の数に大きな開きが生じたため、班組織を変更して、町会運営に生かしたいと考えています。

回の河川清掃を通し、団地内外の美化に努めている。

防災では、組織の強化・機材の充実、また高齢者対策・防犯対策・交通安全対策を推進している。

住民相互の親睦行事としては公園を利用しての大夏祭り・バス旅行・キャンプ大会・敬老の集い・新年行事・餅つき大会などがあり皆で楽しんでる。

昨年八月、念願の集会所の拡張、改修が実現しベランダが外側に広がった新感覚のもので、期待される集会所となった。

住んで良かったと思える町づくりを



南六郷二丁目団地自治会
 会長 内海 禮子

多摩川を望む3棟からなる公団住宅に私たちの自治会がある。今年自治会は昭和46年結成以来35周年を迎えた。当初、36歳の会員平均年齢は60歳を超え高齢

化が現実となった。構成人員は法人契約によって数人で住む外国人や、高齢者住宅の指定を受けて一人暮らしのお年寄りも多く加わってきた。これに起因して、無関心等から結成以来築いてきたコミュニティの崩壊を招きかねない。自治会加入率を高めるキャンペーンに取り組んでいる。

自治会の事業は、3年毎の家賃改訂の度に運動を行い成果をあげている。町づくりを担う自治体の一員として団地内の区立公園を月1回の清掃デー・年3

戦後の復興に貢献してきた中小企業の活気も今では過去のことで、バブル経済の崩壊と共に次々と移転した跡地に、公共施設や高層集合住宅が林立し工場の町から大きく変身した。洪水に備えた雑色ポンプ所が、

南六郷三丁目町会
 会長 吉野 鷹夫



新たな拠点で新旧会員の融和を

わが町会は南側が広大な多摩川河川敷に隣接しており、素晴らしい景観と環境に恵まれ、六郷地区で一番広い面積を持つてい

✓十年間の工程を経て平成15年に完成し、防災面でも良い環境になった。その一面に集会場を備えた南三堤公園が昨年完成し、新たな拠点として町会のふれあいの場となっている。

**区と区民活動の連携
協働の輪の中へ**

東六郷二丁目町会
会長 中島 寿美



平成十四年区が推奨する「区と区民活動の連携と協働」に向かって事業を推進している。

祭礼、納涼大会、防災訓練など多くの行事は、年間行事計画により円滑に実施している。特に祭礼で大きな盛り上がりを出してくれる「みなさん会」(みこし会)の若い力は貴重な存在である。

◆新会員と友好の輪
環境の変化と世代交代の中で、先人が残してくれた伝統文化を引き継ぎながら若い会員との友好の輪をどのように広げるかが

今後の課題である。各行事への積極参加を促し、ふれあいと連携を大切に、共助の気持ちが生えることを期待している。

完成した町会会館

—その後—

東六郷二丁目町会
会長 熊田 良三



念願の町会会館が平成15年1月に竣工してから、早くも四年目を迎えるようとしている。当会館は町会の皆様の寄付と

区からの補助金や助成金を基にして建設されたものである。したがって、この機会に地域活動にどのように関わり、利用しているかを述べておきたい。

◆集会所の使用状況
東二長寿会の例会が月2回開かれており、従来は20数名であったが、最近では倍近くに増え活性化している。また、水門通り商店街が主催する太極拳は、月3回行われ、約30名の女性で賑わっており、健康増進に役立っている。

そのほか、定例の会合を毎月4回行っている賛助会員もあり、町内の各種団体の方々も頻りに利用されている。そのため、会館の運用実績は、初年度から黒字にすることができた。

◆会館の多様な活用
町会会館は祭礼の時だけではなく、交通安全週間啓発の詰所とすることができるようになった。露天でのテント張りではなく、雨天でのテント張りではなく、大変喜ばれている。さらに、公園などに分散して置いていた町会の備品は、会館へまと

めて収納することになり、管理しやすくなったこと。資源ゴミの自主収集場所として美化運動の助けとなっていること。ビデオプロジェクターを備え、映画会を開催できるようになったこと等々がある。

町会会館の課題の一つは、未だに葬祭場としての利用がないことである。これからも、より広く会員のために生活と文化の施設として親しまれるよう努めていきたい。

**町会行事・ボランティア
活動に関心を**

東六郷三丁目町会
会長 石田 哲也



当町会は第一京浜国道をはさみ、町会名は東六郷三丁目町会

ですが、地域としては東六郷二丁目、仲六郷二丁目、仲六郷三丁目の一部の地域が含まれた町会です。当町会の世帯数は約千四百世帯で、その八割が集合住宅の居住者です。環境がかわり、以前と比べ会員の町会行事への関心が薄くなり、如何にして町会行事に参加して頂くか非常に苦慮しています。

当町会ではボランティア活動として、二つの活動を実施して

います。一つ目は、美しい街づくりのため、平成十六年度よりクリーン作戦として、毎月第四日曜日に第一京浜国道沿いの植え込みを中心に清掃しています。ビン、カン、タバコの吸殻以外にも様々なものが捨てられています。当初はゴミ袋の数もかなりありましたが、最近は数も少なくなりました。二つ目は、今年度より防犯パトロール隊を結成し、毎月第三土曜日の夜間に

15名ほどを二班に分け、町内パトロールを実施しています。町内の皆様の安全に少しでも貢献できればと思います。又、青少年の健全育成の目的で、毎年親子で楽しめるバス旅行を実施し、好評をえています。

現在の町会の悩みは、町会会館が築50年と古く狭いこと、役員に高齢者が多いことで、双方とも今後の課題と言えます。

**災害のない明るい
町づくりを目指して**

宮本町会
会長 木内 武雄



◆町会の取り組み
原則として「年間行事予定表」に従って行われる。その内容は、役所、警察、消防署関係や学校行事の参加、隣接町会との交流(防災訓練や会議、神社祭礼や納涼大会など)町会では、防火・研修旅行・餅つきなど。なお、七草に多摩川河川敷で行われてきた「どんど焼き」は今年中止になりました。

◆課題
「在来住民と新住民との融和」、マンション居住者との意思の疎通を図り町会の運営に反映させる。

「リサイクルとボランティア」、古紙やアルミ缶などの回収の難点を合理化して効率よく実施する法。これは資源の活用と町会行事の資金として重要です。「会館のリフォーム」、築25年

になると修理改善する箇所が増え、洋式便器の取り替えなど部分的には対処してきたが、今回総合的にリフォームを検討中で、工事は地元業者に施工を予定している。

◆会館の紹介
毎月、第一日曜日を会員に開放し、カラオケなどを楽しむ。その他、各種の会合・冠婚葬祭などに貸し出しをしている。